おわりに

今回、公共施設最適化方針における3Rの考え方にに基づき、公共施設最適化計画という形で、施設ごとの大枠の方向性ととも、支所別に複合化を検討していくためのモデルケースを公表しました。

本計画の策定にあたっては、有識者などによる外部委員から構成される「伊賀市公共施設最適化計画検討委員会」と庁内組織として発足した「伊賀市公共施設最適化計画検討会議」が相互に連携を図りながら協議を進めてきました。中間案公表後には、住民説明会や意見交換会、パブリックコメントを実施し、公共施設に対する様々な意見をいただきました。公共施設最適化の取組みにあたっては、検討委員会からの提言^{※19}にもあるとおり、市民のみなさんの意見を踏まえつつ、公共施設最適化に向けた取組みを進めていきます。

今後は、本計画に基づき、個別施設の実行計画（アクションプラン）^{※20}を策定し、具体的な実施策を立案していきます。実行計画の策定にあたっては、庁内で部門横断的な組織による推進体制を構築し、市として具体的な検討を行います。

これまでの公共施設を新たに整備していくという発想から、今ある施設を活用し効率的にサービスを提供していく発想（脱ハコモノ主義）へと転換することで、伊賀市民の財産である公共施設を将来の伊賀市民へ持続可能な形で継承していくため、勇気と覚悟をもって市民のみなさんとともに取り組んでいきます。

※19 伊賀市公共施設最適化計画検討委員会からの提言については、本計画書の資料5（65ページ）に記載しています。

※20 2015（平成27）年度以降の取組みスケジュール（ロードマップ）については、本計画書2ページに記載しています。